

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	25030	
事業名	電車通拡幅整備事業						
評価担当課	所属名	建)土木部 道路課					
	課長名	長南 成明	担当者名	吉舗 大	電話番号	011-211-2617	
施策名	主	持続可能な都市を支えるネットワーク___1__交通ネットワーク					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	道路用地の取得や電線共同溝、道路改良や路面電車関連の各工事を順次行い、電車通の拡幅整備を進める。				
		長期	一年間を通じた円滑な自動車交通空間の創出による交通混雑の緩和や路面電車の定時性確保、良好かつ円滑な歩行者空間の創出による都市災害の防止や情報通信ネットワークの信頼性向上を図る。				
	取組内容	路面電車が走る3路線(南1条通、西7丁目通、福住・桑園通)において、道路拡幅整備および電線共同溝整備を行う。					
	実施結果	3路線(南1条通、西7丁目通、福住・桑園通)において、用地買収を実施した。 なお、西7丁目通及び福住・桑園通にて実施を予定していた工事は、入札不調により整備状況に進展はなかった。					
事業実施における工夫点	軌道事業者である交通局と連携して事業を進めている。						
対象者	道路利用者など			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	「都市計画法」「道路法」「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」						
他都市の状況	各都市共に、都市施設や交通施設の整備に関する総合的な計画を定めている。その大きな視点として、公共交通機関への利用転換が位置付けられており、利便性向上に資する取り組みを進めている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	1,432,157	1,173,500	1,672,831	1,733,490	
うち特定財源	1,294,642	1,054,970	1,211,837	1,540,976	
人工	11.0	11.0	13.0	19.0	
人件費	79,200	79,200	93,600	136,800	
計(事業費+人件費)	1,511,357	1,252,700	1,766,431	1,870,290	
事業費の内訳	令和3年度決算	委託料:49,760千円、工事費:6,813千円、用地費:1,274,667千円、補償費:326,763千円、事務的経費:14,828千円			
	令和4年度予算	委託料:104,250千円、工事費:853,620千円、用地費:504,824千円、補償費:240,150千円、事務的経費:30,646千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	整備対象路線の整備率			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	34%	34%	34%	35%	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	3路線(南1条通、西7丁目通、福住・桑園通)において、用地買収など着実に事業を進めている。なお、指標「整備対象路線の整備率」は「電線共同溝の整備」を行い「道路の拡幅整備」まで完了した区間の延長を計上している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	本市の総合交通計画においては、将来都市像の実現を交通の面から支えるため、公共交通に係る計画理念が示されている。当該事業は、この理念に合致しており、電車通など公共交通と関連性が高く、また「札幌市幹線道路整備の取組みについて」の事業化選定手法に基づき、事業効果の高い路線を厳選して進めていることから、その実施規模は妥当なものと考えている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	整備路線は、「札幌市幹線道路整備の取組みについて」の事業化選定手法に基づき、他事業との関連性、影響度、緊急性や整備効果の度合などを総合的に勘案して、事業効果の高い路線を選定しており、効果的・効率的に事業を進めている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市民意識調査の市政に対する評価「よくやっていると思うもの」において、公共交通の利便性を進める事業は、順位が上位に位置していることなどから、対象者の満足度は高いものと考えている。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	公共交通機関の利便性向上に向け、引き続き積極的に整備を進めていく必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	着実に事業を進めている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 事業効果の早期発現のために、より効果的・効率的に事業を進める。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 現行予算規模を確保し、着実に対象路線の整備を進める。		見直し効果額	0 千円